

1. 科目名(単位数)	ソーシャルワークの基盤と専門職（2 単位）		3. 科目番号	SBMP2155 SSMP2155 PSMP2455
2. 授業担当教員	植木 是			
4. 授業形態	講義、グループディスカッション・作業及び発表		5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係	ソーシャルワークの理論と方法			
7. 講義概要	社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ（社会福祉士及び介護福祉士法、精神保健福祉士法）について理解した上で、ソーシャルワークの概念、基盤となる考え方（原理・理念）を学び、現代に至るまでのソーシャルワークの歴史的な形成過程について学ぶ。 さらに、社会福祉士、精神保健福祉士、ソーシャルワーカーそれぞれの倫理綱領を読み解き、ソーシャルワークの価値規範と倫理について考究を行う。			
8. 学習目標	社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけについて理解する。 ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程について理解する。 ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解する。			
9. アサインメント （宿題）及びレポ ート課題	レポート課題1：ソーシャルワーカーの倫理綱領・行動規範学び、ソーシャルワーク実践においてなぜ倫理綱領を遵守することが大切なのかを考察せよ。			
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士 精神保健福祉士養成講座 11 ソーシャルワークの基盤と専門職 [共通・社会専門]』中央法規出版,2021 年 【参考書】 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。 東京福祉大学編『教職科目要説（初等教育編）』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『教職科目要説（中等教育編）』ミネルヴァ書房。			
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. 受講態度・参加姿勢 40％（全授業の 3/4 以上の出席が必要）遅刻（10 分程度迄）は 3 回で 1 回休みとなる。 2. 筆記試験とレポート試験を行う。60％ ○評定の方法 1. 社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけについて理解する。 2. ソーシャルワーク専門職である社会福祉士及び精神保健福祉士の職域と求められる役割について理解する。 3. ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程について理解する。 4. ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解する。			
12. 受講生への メッセージ	毎回の授業時、基本用語等について説明・質問をするので、事前・事後の学習を必ず行っておくこと。 1. 指定の教科書は授業の際、必ず持参してくること。 2. 別途配布する資料は、正しく整理して必ず保管しておくこと。 3. 授業中の私語や携帯電話の使用は禁止する。 4. 授業ごとに行うコメントカード等の提出での出席確認も行うため、必ず提出すること。 5. 授業の参加態度以外にも、コメントカード等の提出をもって受講態度・参加姿勢の評価とする。			
13. オフィスアワー	別途通知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容		学習課題	
第 1 回	オリエンテーション ：シラバス、講義概要、試験・レポートについての説明		事前学習	シラバスを持参する。事前に講義概要、シラバスについて目を通しておく。
			事後学習	授業のねらいについて講義用ノートにまとめる。
第 2 回	ソーシャルワーク専門職である社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ（1）：ソーシャルワーク専門職への期待と社会福祉士及び介護福祉士法、精神保健福祉士法について学ぶ。		事前学習	テキスト pp.2～22 を熟読し、重要であると考ええる点、不明な点をノートにまとめる。
			事後学習	社会福祉士及び介護福祉士法、精神保健福祉士法について学習内容をまとめる。
第 3 回	ソーシャルワーク専門職である社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ（2）：社会福祉士および精神保健福祉士、ソーシャルワーカーの専門性について学ぶ。		事前学習	テキスト pp.23～35 を熟読し、重要であると考ええる点、不明な点をノートにまとめる。
			事後学習	社会福祉士および精神保健福祉士の専門性についてノートにまとめ説明できるようにする。
第 4 回	ソーシャルワーク専門職である社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ（3）：ソーシャルワーカーに求められるコンピテンシーについて学ぶ。		事前学習	テキスト pp.36～50 を熟読し、重要であると考ええる点、不明な点をノートにまとめる。
			事後学習	社会福祉士および精神保健福祉士に求められるコンピテンシーについてまとめる。
第 5 回	ソーシャルワークの概念（1）：ソーシャルワークの定義について学ぶ。		事前学習	テキスト pp.52～67 を熟読し、重要であると考ええる点、不明な点をノートにまとめる。
			事後学習	ソーシャルワークの定義について学習内容をまとめる。

第 6 回	ソーシャルワークの概念 (2) : シーシャルワークの構成要素について学ぶ。	事前学習	テキスト pp.68～83 を熟読し、重要であると考 える点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	ソーシャルワークの構成要素について学習内容をまとめる。
第 7 回	ソーシャルワークの基盤となる考え方 (1) : ソーシャルワークの原理について学ぶ。	事前学習	テキスト pp.86～102 を熟読し、重要であると考 える点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	社会正義、人権尊重と権利擁護、集団的責任と多様性の尊重について要点をまとめる。
第 8 回	ソーシャルワークの基盤となる考え方 (2) : ソーシャルワークの理念 (当事者主権、尊厳の保持、 権利擁護、自立支援) について学ぶ。	事前学習	テキスト pp.103～110 を熟読し、重要であると 考える点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	当事者主権、尊厳の保持、権利擁護、自立支 援について要点をまとめる。
第 9 回	ソーシャルワークの基盤となる考え方 (3) : ソーシャルワークの理念 (エンパワメント、ノーマラ イゼーション、ソーシャルインクルージョン、原理・理 念に基づくソーシャルワーク) について学ぶ。	事前学習	テキスト pp.111～119 を熟読し、重要であると 考える点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	エンパワメント、ノーマライゼーション、ソ ーシャルインクルージョンについて要点をまとめる。
第 1 0 回	ソーシャルワークの形成過程 (1) : ソーシャルワークの源流と基礎確立期、発展期につい て学ぶ。	事前学習	テキスト pp.120～144 を熟読し、重要であると 考える点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	ソーシャルワークの形成過程において、基礎確立期、発展期について要点をまとめる。
第 1 1 回	ソーシャルワークの形成過程 (2) : ソーシャルワークの展開期と統合、日本におけるソーシャルワークの形成過程について学ぶ。	事前学習	テキスト pp.145～169 を熟読し、重要であると 考える点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	ソーシャルワークの形成過程において、日本 のソーシャルワークの形成過程について要点をまとめる。
第 1 2 回	ソーシャルワークの倫理 (1) : 専門職倫理の概念と倫理綱領について学ぶ。	事前学習	テキスト pp.172～187 を熟読し、重要であると 考える点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	専門職の概念について要点をまとめる。
第 1 3 回	ソーシャルワークの倫理 (2) : 倫理綱領とソーシャルワーク実践について学ぶ。	事前学習	テキスト pp.175～191 を熟読し、重要であると 考える点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	倫理綱領を読み返し、その実践と課題につい て要点をまとめる。
第 1 4 回	ソーシャルワークの倫理 (3) : 倫理綱領と倫理的ジレンマについて学ぶ。	事前学習	テキスト pp.192～203 を熟読し、重要であると 考える点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	倫理綱領と実践上のジレンマについて要点及び自身の考察をまとめる。
第 1 5 回	まとめ : これまでの学習を振り返りその内容を確認、今後の自 己課題を明確にする。	事前学習	これまでの学習を振り返り、疑問点を箇条書きにする。
		事後学習	学期末試験に向け、資料の整理と学習内容の確認を行う。